



CONTENTS / 目次

- P1 全国土地改良大会『佐賀大会』について
- P2 第2回 佐賀県農業農村整備事業推進大会
- P3 九州NN推進協議会・土地連九州協議会による
合同要請活動
- P3 農業農村整備の集い
- P4 佐賀県農業農村整備に関する提案活動
- P4 女性理事の紹介
- P5 かいりょうくの話
《新人紹介》
- P6 どかうれんの話
《新人紹介》
《さが水土里ネット女性の会 総会》
《高校生へ職場説明》
《田んぼダム 出前授業》
《平板測量競技会》
《イベント開催のお知らせ》
- P11 多面協議会の話
《土地改良区及び活動組織との意見交換会》
- P12 お知らせ
《非補助農業基盤整備資金》
《土地改良施設賠償保険》
《土地改良法律相談》
《今後のスケジュール》
《農家負担金軽減支援対策事業》
《さが水土里ネット女性の会 会員募集》

第47回全国土地改良大会 佐賀大会



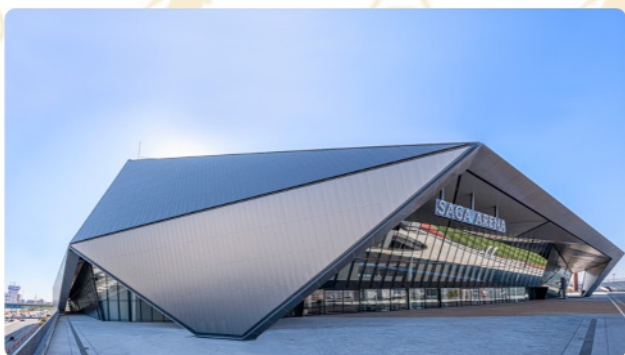
水^りを利して



土を活かす



さがで語ろう郷^さ里^との未来



2025
SAGA

第47回 全国土地改良大会

佐賀大会

日時 | 2025.10.15(水)

会場 | SAGAアリーナ

～ 2025年 全国土地改良大会「佐賀大会」のご成功を
心より祈念申し上げます ～

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 まさお

参議院議員 進藤 金日子

第2回 佐賀県農業農村整備事業推進大会を開催しました

令和6年8月9日(金)に『ドゥイング三日月』多目的ホールにおいて『第2回佐賀県農業農村整備事業推進大会』を落合佐賀県副知事、大場佐賀県議会議長、宮崎参議院議員、九州農政局の植野農村振興部長及び島内佐賀県農林水産部長をはじめ多くの来賓の方々を迎え、県内土地改良区の役職員及び組合員、佐賀県農林水産部の職員、市町職員等の関係者約500名の参集のもと開催しました。

本大会は、国際情勢の混乱や地球規模の異常気象等により、食料安全保障の強化が求められる中で、農業農村整備事業の役割や重要性及び今後の進むべき方向を再確認し、必要な予算確保による事業の着実な推進に向け、県内土地改良関係者の意識の共有を図ることを目的として開催しました。

当日は、江里口推進協議会長（小城市長）の主催者挨拶の後、来賓として御臨席いただいた落合佐賀県副知事、大場佐賀県議会議長、及び九州農政局の植野農村振興部長より祝辞をいただきました。



江里口推進協議会長による主催者挨拶



全国土地改良功労者等表彰受賞者
 団体表彰 川登土地改良区
 迎副理事長、松尾理事長（前列左から）
 西田事務局長（前列右端）
 個人表彰 東山代干拓土地改良区 西山理事長
 （前列右から2番目）

また、表彰伝達式では、「全国土地改良事業団体連合会 第65回全国土地改良功労者等表彰」において、団体表彰の部・会長表彰を受賞されました川登土地改良区、並びに個人表彰の部・会長表彰を受賞されました東山代干拓土地改良区の西山哲理事長に全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎参議院議員より表彰状の伝達が行われました。次に、「佐賀県土地改良事業団体連合会 第66回土地改良事業功労者表彰」において受賞された7名のうち出席された4名の方に田島会長より表彰状が授与されました。

基調講演では、宮崎参議院議員による『基本法の改正と今後の土地改良』、全国土地改良事業団体連合会土地改良広報センターの牧所長による『将来を考えた組織の強化～土地改良区に女性理事を～』と題して講演をいただきました。その後、さが水土里ネット女性の会の西田会長及び会員による大会宣言の朗読が行われ、佐賀県土地改良事業団体連合会の田島会長（白石町長）の閉会挨拶により大会を終了しました。



佐賀県土地改良事業功労者表彰受賞者

上場土地改良区 井本総括監事（前列左端）
 三養基土地改良区 平野理事長（前列左から2番目）
 鍋島東土地改良区 古賀理事長（前列右から2番目）
 鹿島市土地改良区 土井理事（前列右端）

九州NN推進協議会・土地連九州協議会で 要請活動を実施しました

令和6年5月28日(火)～29日(水)、九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会合同で関係国会議員及び農林水産省、財務省等へ要請活動を実施しました。佐賀県農業農村整備事業推進協議会の江里口会長(小城市長)及び本会の田島健一会長(白石町長)を含む九州各県代表者が出席し、九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進について、進藤金日子財務大臣政務官、坂本哲志農林水産大臣、長井俊彦農村振興局長などと面談し提案書を手交しました。



進藤金日子財務大臣政務官へ提案書を手交



武村展英農林水産副大臣へ提案主旨の説明

『農業農村整備の集い』が開催されました

令和6年6月10日(月)、東京都千代田区のシェーンパツハ・サボーにおいて、全国水土里ネット(二階俊博会長)主催による『農業農村整備の集い』が開催されました。農業農村整備事業の推進と令和7年度当初予算の確保等に向け、全国から農業農村整備関係者約1,000名が集い、鈴木憲和農林水産副大臣、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々が出席されました。

主催者である二階会長より、「宮崎雅夫、進藤金日子両参議院議員の活動により6,000億円を

超える予算の回復、土地改良区の女性理事登用が5倍になった」と力強い挨拶を述べられました。

高田専務理事は、令和7年度の全国土地改良大会が佐賀で開催される旨の紹介と要請文提案を朗読され、会場一同の大きな拍手をもって採択されました。

最後に、ちば水土里ネット女性の会の富山会長ら3名から、千葉の魅力と今年開催される千葉大会へ向けた意気込みを語られ、「ガンバロウ三唱」の発声と盛大な拍手をもって盛会のうちに終了しました。



全土連二階会長挨拶



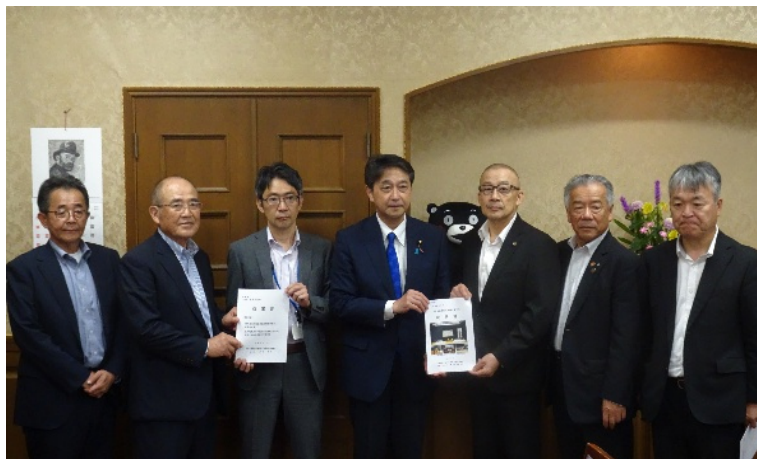
高田専務理事による要請文提案

佐賀県農業農村整備事業に関する提案活動

佐賀県農業農村整備事業推進協議会と佐賀県土地改良事業団体連合会は、令和6年7月4、5日に農林水産省及び財務省に対して令和7年度農業農村整備事業に関する提案活動を行いました。

佐賀県農業農村整備事業推進協議会
会長 江里口 秀次（小城市長）

佐賀県土地改良事業団体連合会
会長 田島 健一（白石町長）
副会長 秀島 敏行（佐賀土地改良区理事長）



進藤金日子財務大臣政務官への提案書の手交



農林水産省青山農村振興局次長へ提案書の手交



農林水産省緒方農村振興局整備部長へ
提案内容の説明

女性理事の紹介

金澤 智寿子さん / 令和6年 新任



初めまして。4月に本会の理事に就任させていただきました金澤です。3月まで3年間、佐賀県農業大学の校長を務めておりました。昨今は、様々な分野への女性の進出は当たり前のこととなっていますが、理事就任以降、土地改良団体における女性理事の少なさに驚くとともに、なぜ今まで登用が進まなかったのだろうと

いった疑問が生じています。

「女に力仕事は任せられん！女は機械操作が苦手！危険な現場に女をやるわけにはいかん！」などなど、非力でか弱い女性への思いやりが強すぎて、男性中心の世界になっていたのかも知れません。

今や南極でも国際宇宙ステーションでも女性が活躍している時代です。「女に理事は難しかろう」という思い込みを捨て、「いっちょ、任せてみっか〜」という気持ちを持っていただくところからスタートかなと感じています。

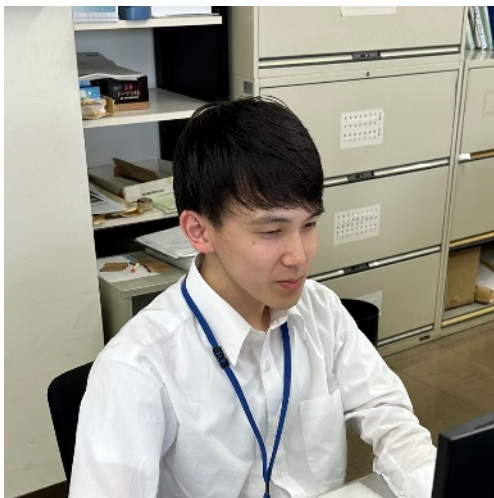
初めて理事となった私自身ドキドキしていますが、期待を裏切らないよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



かいりょうくの話 題

新 人 紹 介

佐賀土地改良区 \副島 大河さん/



Q1 土地改良区に興味を持ったきっかけは？

地元で貢献できる職に就きたいと考え、転職先を探していた際に、佐賀土地改良区の求人に出会ったことがきっかけです。元々土地改良区が存在を知っていたわけではありませんが、情報を集める中で、地域の農業基盤を支えている団体であるということを知りました。農業が盛んな佐賀において必要不可欠な存在である土地改良区の一員となり、地域貢献をしていきたいと強く感じたことを覚えています。

Q2 現在どのような業務をしている？

仕訳入力や伝票処理、帳簿管理等の経理事務や書類の受付、問い合わせ対応を行っております。

Q3 趣味（マイブーム）や特技は何？

対戦格闘ゲームにはまっています。

また、eスポーツ観戦も趣味で、国内外問わず時間があれば大会の配信を見ています。

Q4 今後チャレンジしたいことは？

業務に関係する資格を積極的に取得していきたいです。

また、日本各地の温泉を巡りたいです。

Q5 初任給は何に使った？

家族にケーキを買いました。

Q6 これからの抱負をひとこと！

4月に入職してから徐々に仕事に慣れてきましたが、関係地区名や管理施設名等を覚えることができておらず、日々勉強不足を感じております。まずは知識を蓄えることが重要だと思っておりますので、様々な情報を積極的に吸収していき、一日でも早く土地改良区全体の状況を把握できるよう成長していきたいと思っております。

何事にも積極的に取り組んでまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



どかいれんの話題

新 人 紹 介

会員支援課

／土井 楓さん／



Q1 農業土木に興味を持ったきっかけは？

生物に関する研究をしたいと思い大学の農学部に入學し、コース選択のときに農業土木という分野があることを知りました。私は長崎出身なので造船業が身近にあったことや、祖父が建築関係の仕事をしていたこともあり、幼い頃からものづくりに関しても興味を持っていました。大学で農業土木について学ぶにつれて、この分野の技術者として社会に貢献できればと思うようになりました。

／ 誌 面 に 掲 載 さ れ ま し た ／

佐賀新聞 広報誌『Fit ECRU』にて、土井さんが《田んぼダム》を紹介しました。

田んぼダム(11市町で実施)
水田の排水口に田んぼダム用のせき板を設置することにより、大雨時に水田に雨水が貯留され、水路や河川の急激な水位上昇を緩和し、下流の洪水被害を軽減する効果があります。

田んぼダムの普及に取り組む佐賀県土地改良団体連合会の土井さん

田んぼダムせき板設置

『Fit ECRU vol.482』(2024.10.2 発行)より抜粋

Q2 現在どのような業務をしている？

GISソフトを使用して図面作成を行っています。また、地域計画業務の手伝いをしています。

Q3 趣味（マイブーム）や特技は何？

趣味はバンドのライブやコンサートに行くことです。ピアノを習ったり、吹奏楽部や軽音サークルに所属したりと何かと楽器もやってきたので、特技は楽器演奏と言いたいところですが、どれもブランクがあるので、また楽器を始められたらと思っています。

Q4 今後チャレンジしたいことは？

様々な資格取得と体力づくりです。

Q5 初任給は何に使った？

母と祖母へ母の日のプレゼントを贈りました。

Q6 これからの抱負をひとこと！

4月に入職し、職場の雰囲気や業務にも慣れてきました。入職してから新しく学ぶことが多く、まだ覚えるだけで精一杯ですが、毎日が充実し楽しく過ごしています。少しでも早く業務を覚え、一人前の技術者となれるよう日々精進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



どかいれんの話題

新 人 紹 介

農村整備2課

／倉岡 涼成さん／



Q1 農業土木に興味を持ったきっかけは？

農業土木については高校に入学して授業を通して初めて関わりました。農業高校の土木を学ぶ学科に入り、せっかく専門的なことを学ぶのなら農業高校で学んだ農業のこと、土木の学科で学んだ土木のこと、その両方を将来生かせるように勉強しようと思い、農業土木の魅力とその世界にのめりこんでいきました。

Q2 現在どのような業務をしている？

暗渠排水工事の図面作成、現地で測量したデータをもとに現況を起こしたりなどしています。



田島会長より辞令を交付される倉岡さん

Q3 趣味（マイブーム）や特技は何？

趣味はTricking(トリッキング)というアクロバットスポーツで、バク転やバク宙などがどこでもできます。特技は小学校2年生から10年以上続けたダンスです。今はもう辞めていますが、ジャンルはHIPHOPでダンスバトルなどにも出ていました。運動能力と身軽さならだれにも負けません！

Q4 今後チャレンジしたいことは？

家にいる犬と猫と離れるのはさみしいですが、一人暮らしがしたいです。
また、資格試験などにもチャレンジしたいと思います。

Q5 初任給は何に使った？

親と祖父母をご飯に連れて行ったらとても喜んでくれていました。

Q6 これからの抱負をひとこと！

入職して半年が経ちましたが、まだまだ慣れないことばかりで毎日不安ばかりではありますが業務の達成感などもあり新鮮な日々を過ごしています。それでも分からないことがあったら気軽に質問できる先輩方がたくさんいらっしゃるの、色んなことを教えていただきながら少しずつでも仕事を覚えていこうと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



どかいれんの話題

新 人 紹 介

施設管理課

／御園 楓さん／



Q1 農業土木に興味を持ったきっかけは？

高校は工業高校に入学し電気を学びました。就職は電気分野を通してたくさんのことに触れたいと思い、そこで土地改良連合会を知り、興味を持ったことがきっかけです。



佐賀県農業農村整備事業推進大会での集合写真
(前方3番目が御園さん)

Q2 現在どのような業務をしている？

現場へ行って施設などの点検業務や写真整理をしています。

Q3 趣味（マイブーム）や特技は何？

特技は小学4年生からしていた野球です。
趣味はラーメンと温泉が好きなので友達とよく行きます。

Q4 今後チャレンジしたいことは？

第三種電気主任技術者試験に挑戦したいです。

Q5 初任給は何に使った？

親にご飯をごちそうしました。

Q6 これからの抱負をひとこと！

4月に土地改良連合会に入職し、今まで触れてこなかった農業という分野に関わって、まだ、何も分かりませんが優しい先輩方からたくさん学んで地域と連合会に貢献していきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



どかいれんの話題

さが水土里ネット女性の会 総会を開催しました

令和6年5月17日(金)に、メートプラザ佐賀において「令和6年度 さが水土里ネット女性の会総会」が開催されました。女性の会会員32名のうち29名が参加し、設立から2年経過したということもあり和やかな雰囲気の中での開催となりました。

はじめに、西田会長（川登土地改良区）が開会の挨拶を述べられ、続いて高田専務理事から挨拶をいただきました。なお、議事では上程された議案はすべて可決されました。

本総会提出議案は次のとおり。

第1号議案 令和5年度 活動実績報告について

第2号議案 令和6年度 活動計画について

第3号議案 役員改選について



西田会長挨拶

イベント開催のお知らせ

令和6年11月17日(日)に佐賀城本丸歴史館にて『クリークから考える地域活性化シンポジウム』が開催され、当会の高田専務理事が基調講演を行い、ディスカッションでパネラーを務めます。皆様、是非ご参加ください。

佐賀県

クリークから考える 地域活性化シンポジウム

～未来に残したい佐賀のこと～

2024.11.17(日) 13:00～15:30
in佐賀城本丸歴史館

参加 無料
申込 不要

先着100名
プレゼント配布

© 2024 Saga Prefecture.

佐賀平野には多くのクリークが存在し、住む人々と密接な関わりがあります。クリークの持つ役割は、農業用水の用排水以外にも、希少な生態系を守る役割や大雨を一時的に貯留する役割もあります。しかし、社会や環境の変化で関わりが希薄になっている側面も。そこで、改めて地域にあるクリークについて考えるシンポジウムを開催します。このシンポジウムで、クリークの成り立ちや役割、そこに住む人達の話を聞いて、自分たちの地域のことを考える機会にしませんか？

基調講演「クリークの農業利用について」
佐賀県土地改良団体連合会 専務理事 高田俊行氏

ディスカッション「未来に引き継ぐ佐賀のクリーク」
ファシリテーター 桑原 昇氏 (佐賀新聞社 編集局長)

パネラー
高田 俊行氏 (佐賀県土地改良団体連合会 専務理事)
池田 大志氏 (株式会社イケマコ代表取締役)
内田 良治氏 (神埼市)
中村 恭子氏 (白石町)

タイムスケジュール

12:30 開場
13:00 開会
13:10 基調講演
～13:50
14:00 ディスカッション
～15:20

会場のご案内
佐賀城本丸歴史館
(住所:佐賀市内2丁目18-1)
JR佐賀駅から市営バス「博物館前」下車徒歩1分

※当日はさがさいこうフェス実施のため、会場周辺に駐車場に限りがあります。ぜひ公共交通機関の使用をお願いします！

当日
森川海人っフェス
佐賀さいこうフェス
が近くで開催中だよ！

お問い合わせ先:
佐賀県 農山村課 企画調整担当

TEL: 0952-25-7124
FAX: 0952-25-7284
mail:nousonson@pref.saga.lg.jp



どかいれんの話題

高校生へ職場説明を行いました

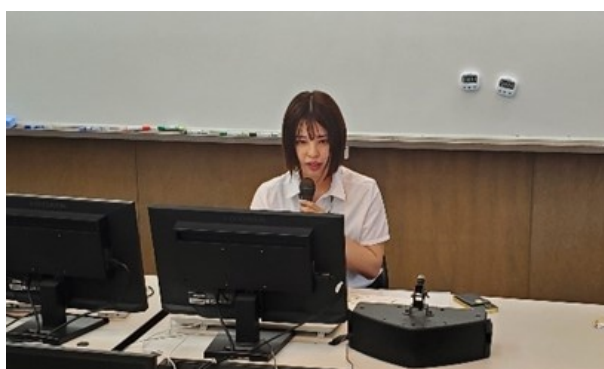
令和6年7月4日(木)、佐賀県立佐賀農業高等学校（白石町）にて3年生を対象に、当校OBである本会職員3名による職場説明を行いました。職員からは、『本会の業務内容や組織としての性質、今求められている能力について』と『仕事とプライベートを両立するためのライフワークバランスについて』説明を行いました。

高校生は就職活動前ということもあり、熱心に聞き入った様子で、質問もたくさんあり、本会に興味をもってもらえた実感しました。

主な質問内容としては、「卒業してすぐに必要な技術は何か」「福利厚生とは具体的に何か」「県と土改連の大きな違いは何か」など、仕事に従事する上で具体的に必要な事に関心があり、高校生の仕事に対する意識の高さがうかがえました。



出前講座の様子①



出前講座の様子②

小学生に『田んぼダム』についての出前授業を行いました

令和6年7月1日(月)、佐賀県が浸水被害軽減のために推進している『田んぼダム』について、本会で制作した模型を使って小城市立三里小学校5年生12名と三里自然塾2名を対象に出前授業を行いました。

田んぼの排水口に『せき板』を設置した田んぼと、設置していない田んぼを比較した模型で降雨を再現すると、児童たちは興味津々で田んぼに雨が溜まっていく様子を観察し、住宅地に水が流れてくるまでの時間の違いなどに気づいたようです。

また、児童からお礼の手紙をいただき、中には『せき板』の切り欠きの形状に関して疑問を持った児童もいるなど、田んぼダムに興味を持ってもらえたことを実感しました。

引き続き、この活動を通して田んぼダムの普及に努めていきたいと思ひます。



出前授業の様子



どかいれんの話題

平板測量競技会の審査員を務めました

令和6年7月25日(木)、白石町総合運動場（外業）と佐賀農業高等学校国本会館（内業）にて行われました『佐賀県学校農業クラブ連盟大会 平板測量競技会』において、本会より2名が審査員を務めました。

例年は、県農林事務所職員が審査員をされており、土改連は作問と競技会前日に行う測量杭の設置に関わってきましたが、今年からは審査まで行うこととなりました。

平板測量競技（境界線測量を行い最終的に三辺法と三斜法による面積算出）は、教科の学習や測量技術の成果を発表し、その実力を競い合い、職業的能力を高めることを目的としています。

出場校は、県内にある3つの農業系高校から各2チーム（1チーム3人構成）参加し、中には女子高生3人のチームもありましたが、どのチームも真夏の炎天下の中、声を掛け合いながら効率よく測量を行っていました。



審査状況

多面協議会の話題

土地改良区及び活動組織との意見交換会を開催しました

佐賀県農地・水多面的機能推進協議会では、今年度より、活動組織の活動実態を定量的に見える化し、市町と共有しながら、効果的な支援を行うため、『活動の充実に向けた活動組織のカルテの作成及び診断』に着手したところです。

令和6年度は、活動組織の現状把握のために、活動組織及び関係土地改良区との意見交換を実施することとしており、第1回目の意見交換を、嬉野市の塩田東部土地改良区管内で、下記のとおり実施しました。

【日時】	令和6年7月29日(月)
【場所】	嬉野市役所 本庁 五町田研修センター
【参加者】	塩田東部土地改良区 及び管内10活動組織 佐賀県農山村課 杵藤農林事務所 嬉野市役所 佐賀県農地・水多面的機能 推進協議会



意見交換会の様子

お知らせ

非補助農業基盤整備基金をご活用ください

土地改良区等が、国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が、農家負担の軽減を目的に土地改良区等へ低利で融資する資金です。

国の補助事業でない事業（県又は市町単独補助事業）についても融資の対象となります。

融資用途の例

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し、
農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分
(トイレ、浴室、洗面所の改修)
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、
揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、土地改良区事務所の建設や事務機等の購入費用など

利 率	融資時の利率は、金融情勢により変動
償 還 期 間	25年以内（内、措置期間10年以内）
貸付限度額	農家負担額（最低額50万円）

〈お問い合わせ先〉 会員支援課 (0952) 24-6474

土地改良施設賠償保険のご案内

市町・土地改良区が使用または管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスなどに起因する事故で、他人へ傷害を与えたり、財物を損傷させたりした場合など、法律上の損害賠償責任を負う場合に対し、保険金をお支払いするものです。

施設種別	保険料
農 道	60円/km
用 排 水 路	60円/km
ダム・溜池・貯水槽	250円/箇所
パイプライン	600円/km

〈お問い合わせ先〉 会員支援課 (0952) 24-6474



お知らせ

土地改良法律相談で解決の糸口を！

土地改良事業（土地改良法）に関する諸問題へ、本会の顧問弁護士が、法律的な観点から問題解決へと努めています。相談費用は本会が負担しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

これまでの主な相談例

- 賦課金滞納処分に関するご相談
- 過去の換地処分等に関するご相談
- 土地改良事業を円滑に遂行するためのご相談

〈お問い合わせ先〉 会員支援課 （０９５２）２４－６４７４

今後のスケジュール

土地改良事業や農業農村整備に関係する10月以降の主なスケジュールです。日程は、予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

10月22日	第46回全国土地改良大会	千葉県
11月5日	農業農村整備の集い	東京都
11月6日	九州農業農村整備事業推進協議会・ 土地改良事業団体連合会九州協議会要請活動	東京都
11月7日～8日	佐賀県農業農村整備事業推進協議会要請活動	東京都
10月～11月予定	秋季農業農村整備に関する意見交換（キャラバン）	



農家負担金軽減支援対策事業のご案内

～土地改良事業の受益者負担金の利子負担を軽減！～

1. 水田・畑作経営所得安定対策等支援事業【無利子貸付】

土地改良法に基づく土地改良事業等の実施地区において、要件を満たすことが確実と見込まれる地区に対して、経営所得安定対策等支援計画に従って、受益者負担金の5/6に相当する額を限度に無利子貸付

対象となる事業

土地改良法に基づく事業であって、①②のいずれにも該当しない事業

- ①担い手育成農地集積事業（公庫の無利子貸付）の対象事業
- ②水利施設等保全高度化事業実施要綱に基づく水利施設整備事業のうち農地集積促進型

採択要件（1～3のいずれかに該当）

1. 支援計画で定める目標年度までに、担い手農地利用集積率が一定の割合で増加すること。

採 択 時	目 標
80%未満	10ポイント以上増加※
80～90%未満	5ポイント増加
90～95%未満	95%以上
95～100%未満	シェア増加
100%	維持

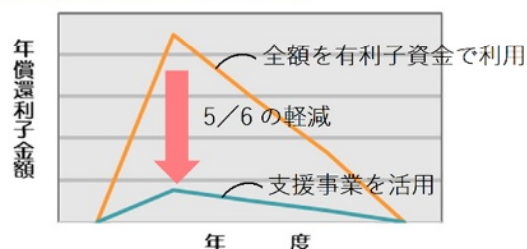
※目標集積率60%未満は採択しない。

2. 支援計画で定める目標年度までに、高収益作物※の生産額がおおむね20%以上増加すること。

※ 高収益作物とは、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物（野菜、花き・花木、果樹など）をいう。

3. 輸出事業計画の認定規程に基づき認定された輸出事業計画との連携が図られること。

支払利子の比較（イメージ）



借入額が多ければ利子が大幅に軽減！

例えば、54百万円を6年間（合計3億24百万円）1.25%で借りた場合、約35百万円の利子が軽減される。

償還期限・償還方法

- ・25年以内（据置期間10年以内を含む）
- ・均等年賦償還

2. 農地有効利用推進支援事業【利子助成】

農地耕作条件改善事業を実施し、担い手への農地利用集積がおおむね8割以上となる地区に対して

- (1) 受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成〔事業費助成型〕
- (2) 農地中間管理機構が農地の出し手（所有者）に対する賃料の一括前払に必要な借入資金に係る償還利子相当額を助成〔一括前払助成型〕

※ 農地利用集積が既に8割を超えている地区は対象としない。

なお、災害時に利用できる災害被災地域土地改良負担金償還助成事業もあります。

お問い合わせは、

佐賀県土地改良事業団体連合会 総務企画課（TEL 0952-24-6268）真島・貞富まで。

さが水土里ネット女性の会

会 員 募 集

「さが水土里ネット女性の会」は令和4年4月28日に設立し、
『明るく楽しい笑顔の花咲く女性の会の活動』をモットーに32名（R6.4.1時点）で活動してます
土地改良区の女性職員のみならず、一緒に活動しませんか？

活 動 内 容

- 会員相互の情報のネットワークの確立、情報の共有
- 研修会や現地視察等の開催及び参加
- 会員相互の親睦による資質の向上

活 動 計 画

- 基本は年2回（総会、研修会など）
- お花見会などの自由参加イベントあり



会 員 コ メ ン ト

- 女性職員の少ない職場で、様々な悩みや問題を抱えていましたが、女性の会発足によって面識が出来てからは情報の共有ができるようになりました。お互いに教えたり、教えられたりしながら助け合うことが出来て仕事の効率化にもつながっています。また、希望者を募って他県での活動の視察や、「お花見会」などしながら交流を深めています。
結果、女性の会が出来て“良かったことばかり”です。何より会うのが楽しみな会になっています。まだ加入されていない皆さま、どうぞ気軽に参加してみてください。【川登土地改良区】
- 女性の会に入るまでは同じ市内の土地改良区の方さえとも接する機会が全く無く、どのような業務をされているのか知りませんでした。
しかし、入ってみると、女性だけなので気兼ねなく土地改良区としての悩みや差押の方法など様々なことを教えあうなど、とても有意義な会になっていると思います。【上場土地改良区】
- 女性の会の活動を通して良かったことは横の繋がりができたこと。さまざまな土地改良区と仕事内容について意見交換をすることで相手のことも知ることができた。女性同士楽しく会話もでき、業務で疑問に思ったことについて気軽に聞ける間柄になれたこと。【佐賀東部土地改良区】

お 問 い 合 わ せ 先

女性の会 会長 西田 祐子（川登土地改良区）
《連絡先》佐賀県土地改良事業団体連合会 （0952）-24-6474 坂口 まで



水土里ネットさが

佐賀県土地改良事業団体連合会
〒840-0811 佐賀市大財三丁目8番15号
TEL (0952)-24-6268(代表)
FAX (0952)-24-6221